# ネブラスカ州のご紹介 Good Life, Great Opportunity

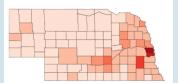






## ネブラスカ州





人口:196万人 (静岡県359万人の半分強)

面積:20万 平方キロ (本州の0.9倍) 92%が農牧地 州都: リンカーン

最大都市: オマハ

(世界の投資家ウォーレン・バフェット居住地)





## ネブラスカといえば農業

- 牛肉
- とうもろこし
- エタノール生産 (副産物が飼料)

牛、豚、鶏、卵 とうもろこし、大豆、麦、豆類、牧草







## 農業機器製造

- ・ 農業機器メーカー:120社以上
- 灌漑技術は世界屈指
- 穀物貯蔵、耕作機器、肥料散布など



### ネブラスカの産業GDPトップ5 (2020年 単位百万ドル)



NEBRASKA **DEPT. OF ECONOMIC DEVELOPMENT** 

## 優れた物流ネットワーク

全米6,500キロを行く最大級鉄道会社2社 全米へのアクセスが容易

ユニオン・パシフィック社は全米最大手、オマハに本社





- 空港が州内に10箇所
- ミズーリ川への港10箇所
- トラック運送会社は13,500社
- トラック1日で全米の26%、2日で 90%の人に届けられる
- 北米自由貿易協定の中心地、南北の高速道路が7本州内を貫通







トラック2日で全米に 届けられます

2020年10月オマハにAmazonの 巨大物流システムができました



**DEPT. OF ECONOMIC DEVELOPMENT** 

## フォーチュン500企業

企業名	ランキン グ	利益	利幅	産業
Berkshire- Hathaway	G14 A6	\$247,837 million	2.4%	金融
Union Pacific	A149	\$22,832 million	7.5%	物流
Mutual of Omaha	A300	\$9,347 million	7.0%	保険
Peter Kiewit Sons'	A307	\$9,025 million	4.0%	建設







### エネルギー

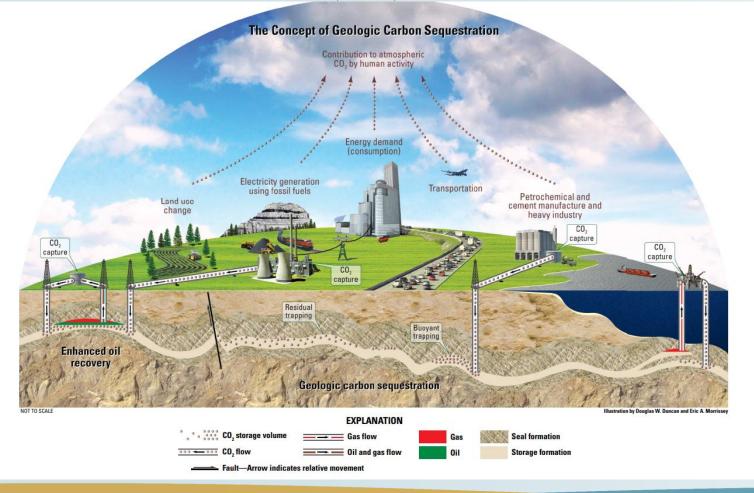
安価なエネルギーが自慢です

- 32%再生エネルギー
- <u>−−−−−</u> • 56%脱炭素エネルギー

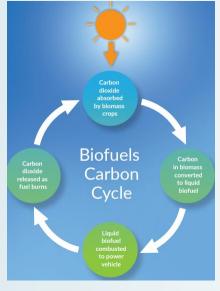


## エタノール利用で脱炭素

#### 二酸化炭素貯蔵技術(CCS)注目されています



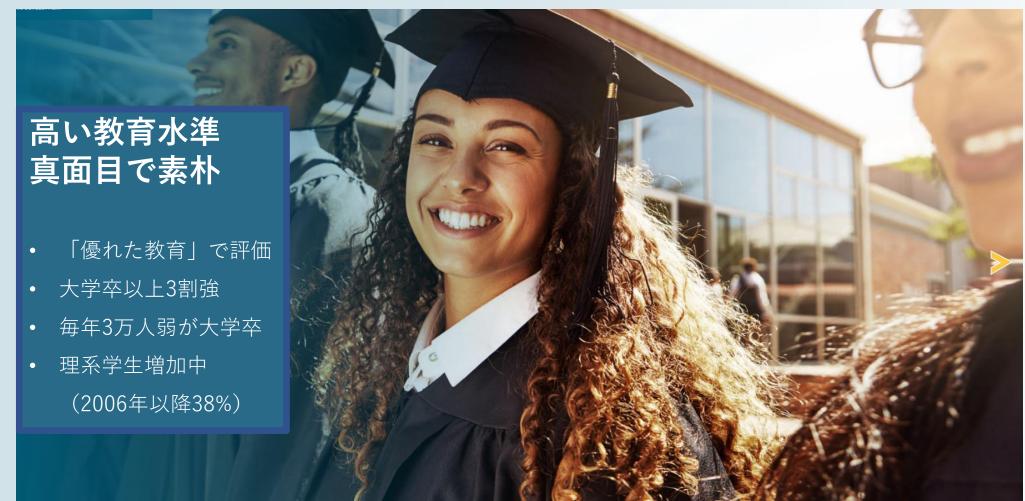








## ネブラスカの人々



## ネブラスカ州立大学

4つのキャンパス



学生 52,000人 教職員 16,000人

- オマハ校
- リンカーン校
- カーニー校
- メディカルセンター (医科大)



### ネブラスカ州立大学ーリンカーン校

- ✓フラッグシップ的存在
- ✓150年の歴史
- ✓学生数 25,000人、ウォーレンバフェットも卒業生
- ✓教育、研究、ビジネスへの架け橋としての存在
- ✓カレッジ・スポーツも有名(ビッグ・テン・カンファレンス)















### ネブラスカ州立大学 つづき

メディカルセンター(医科大): 教育、研究、医療全般をカバーする公立機関。6つのカレッジ、2つの病院。

オマハ校: ネブラスカの最大都市ならでは。地域ビジネス、教育制度、政府機関、市民組織などとも連携

カーニー校: 学部のみ、雰囲気は私立 専門技術が学べる。日本人留学生も多い。









### 静岡市ーオマハ市姉妹都市協定

1965年設立

40周年、50周年記念 駿府御門、お茶屋寄贈

金子潤アートは日本平動物園に











### 静岡県ーネブラスカ州

日米中西部会などでの訪問団の往来 ふじのくに食品開発展、その他イベント 静岡県インターン制度への参加



SHIZUOKA



### 有難うございました

米国ネブラスカ州政府駐日代表事務所 ネブラスカセンター 代表 今川ひさみ

電話 050-5433-2673

hisami-imagawa@nebraska-center.jp



DEPT. OF ECONOMIC DEVELOPMEN

